

補助金対象事業報告書(平成25年度)

団体名	NPO法人Street Culture Rights (平成 24 年 3 月設立)
事業名	区立児童館における無料のブレイクダンス通年教室 + 交流練習会「RAW SKOOL THURSDAYS」
事業(該当区分に)	1. 活動促進事業 2. 協働事業 3. 若者活動事業 4. 地域活動チャレンジ事業

1 事業の目的

目的	今回の申請事業「RAW SKOOL THURSDAYS」では、拠点である杉並区における青少年の居場所づくりに取り組みます。音楽・スポーツ・アート・国際交流といった側面をもつブレイクダンスに取り組むことで、「好きなこと」「わくわく出来ること」「夢中になれるもの」を見つけるきっかけを与え、意欲を引き出す手助けをします。2013年度の成果をもって、14年度以降はモデル的事业として区や区立施設との協働事業として発展、もしくは企業による支援のもと継続的に発展していくことを目指しています。(以上、申請書より抜粋)
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 事業の実施状況

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	実施対象者・対象人数(延べ人数) おもに区内の小中高生。 年間20回程度実施、延べ200～300名程度の参加を予定。	比較的区外からの参加が多い結果となった。 ・区外:区内 = 6:4～7:3 ・2013年4月～2014年3月で合計26回開催 ・延べ参加数355名
	実施内容 ブレイクダンス無料教室 および 交流練習会 交流練習会は区外からの参加者も多く訪れる予定です。年2回ほどは海外からの特別講師を招聘し、国際交流も行える特別な場作りを行います。	無料教室と交流練習会相互に人が交流出来る場の提供ができた。 ・参加者数おおむね小中高生7割、大人3割 ・全25回のうち、4回を海外ゲストで特別版を開催。 (9/28、10/7、12/9、2/2)海外ゲスト総数7名
	実施場所 阿佐谷児童館 (特別講師招聘時は「ゆう杉並」等を検討)	・通常時は阿佐ヶ谷児童館で開催 ・特別版は浜田山会館、およびセッション杉並で開催
	実施回数・スケジュール 月2回程度、木曜日、19時～21時 年間20回程度実施を予定	・合計26回開催 4/11 5/16,30 6/20 7/4,18 8/6,20,29 9/12,28 10/7,10,24 11/14,28 12/9,12,26 1/9,23 2/2,13,27 3/13,27 ・原則木曜日で開催したが場所の予約が取れない場合に数回他の曜日でも実施した。 ・時間は18-21時
	実施体制(従事した人員数・設備等) RAW SKOOLプロジェクト外部講師、長尾浩輔(プロダンサー、週により代講あり)、および海外からのゲスト講師(不定期・年間2回程度を予定。9月カナダ人、12月オーストラリア人)、およびスタッフ(小林資隆・阿部将顕)で運営。	・外部講師のスケジュール上、おおよそ全体の1/3が外部講師、その他は団体メンバーで運営および教室を行った。 ・海外ゲスト(合計7名)は下記の通り。 9/28 カナダ人3名 10/7 アメリカ人2名 12/9 アメリカ人1名 2/2 カナダ人1名
自 己 評 価	事業は当初の予定どおり実施できましたか。	
	<p>当初一番の課題は区内小中高生の参加者獲得だったが、年度半ばからNPO法人まちの塾フリービー様や杉並中3勉強会などと連携して参加者が徐々に増え、最終的には毎週10名程度が参加するようにはなった。ただし事業としての完成度はまだ低く、引き続き区内の学童や学校支援本部などと連携して、子どもたちへの周知を行いたい。</p> <p>海外ゲストの特別版は関東一円からたくさんの参加者を集めることが毎回出来ている。こうした機会を区とより密に連携して、杉並らしい、青少年のプロジェクトに発展させて行きたいと願う。</p>	
	[自己評価] <input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった	

3 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

		事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	当初予定したニーズがありましたか。		
	(以下計画書より抜粋) 特に今回の当申請事業「RAW SKOOL THURSDAYS」では、拠点である杉並区における青少年の居場所づくりに取り組みます。音楽・スポーツ・アート・国際交流といった側面をもつブレイクダンスに取り組むことで、「好きなこと」「わくわく出来ること」「夢中になれるもの」を見つけるきっかけを与え、意欲を引き出す手助けをします。	ニーズは確かにあったが、区内の対象者に限っては、そのニーズを持つ青少年に直接アプローチするところに課題を残した。 学校や学童を通じた広報活動の糸口がつかめないまま自力で他のNPO団体等と連携した周知活動になったことは、良い面もあるが少々残念ではあった。 区外の対象者は、もともと当プロジェクトが持っていたメディアを活かした発信で幅広い参加者を募ることが出来た。	
	【自己評価】		
	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> 概ねあった <input type="checkbox"/> あまりなかった <input type="checkbox"/> ほとんどなかった		
	地域の特性を活かした活動になりましたか。新たな問題提起ができましたか。		
(以下計画書より抜粋) 杉並区は和田中学校の取り組みや「ゆう杉並」に代表されるように、青少年教育には独自のアプローチで長年成果を出してきた地域です。 ここに、「RAW SKOOL THURSDAYS」プログラムを設置することで、全国にも例をみない、ブレイクダンスを通じた青少年育成の支援という新しいモデルをスタートします。 旧来の発想による居場所づくりではなく、意欲と感性を引き出すきっかけづくりを行う、世界でも先進的なアプローチとなります。	杉並区らしい、非常にユニークな青少年の居場所づくりのテストモデルをつくりだすことが出来たと思う。 特に、おとなしめの子どもや、もともと音楽が好きだった子どもなどの参加者が毎回通うようになったことは大変意味のあることだと感じる。あとはその「数」だけが課題だと感じた。 こうしたこれまでにないプログラムでの居場所づくりが杉並から多く発信されることを願います。		
【自己評価】			
<input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった			
当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。			
(以下計画書より抜粋) NPOによる「ストリートカルチャーを通じた青少年の居場所づくり」という新しいモデルの創出により、国内の自治体へ、杉並から新たなプロトタイプを発信することになります。 2013年度の成果をもって、14年度以降はモデル的事业として区や区立施設との協働事業として発展、もしくは企業による支援のもと継続的に発展していくことを目指しています。	他の自治体への波及効果は、当団体の力不足であり成果を出すことが出来なかった。 この点、区や学童・学校関連組織とより親密な連携を図りたいと思う。		
【自己評価】			
<input type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> 概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった			
今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。			
区での通年の事業を持ったことにより、様々な方へ定期的活動をお見せすることが出来た。 区内外の他NPO団体やダンス関係者、海外からの滞在者が訪れてくれたこともあった。 すぎなみ地域大学の座談会にパネリストとして当団体から共同代表の阿部を招いて頂いたことは、その象徴的な出来事だったと思う。 通年でコツコツと活動を続けることの難しさと大切さを学ぶ事業となった。			
【自己評価】			
<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> 広がらなかった			

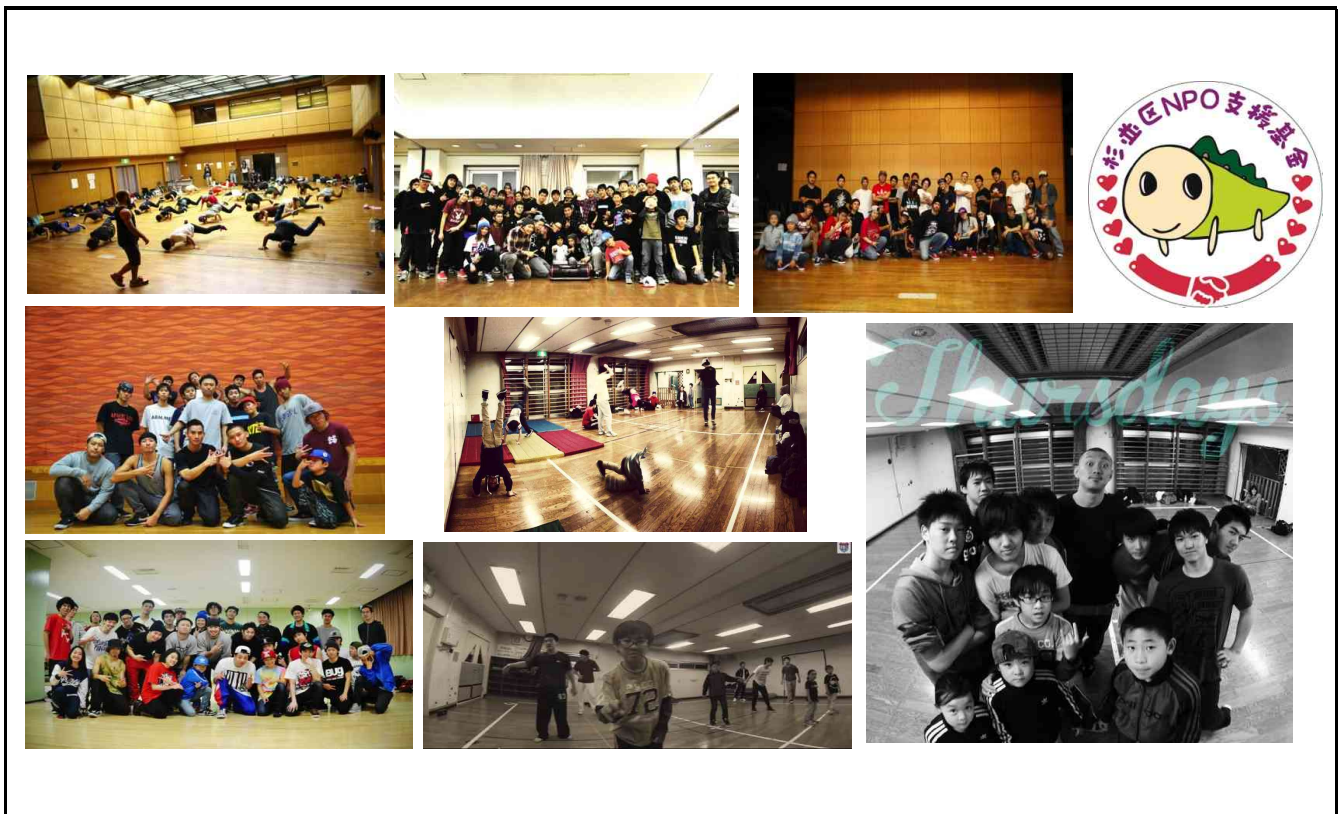
4 事業の公開と「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	<ul style="list-style-type: none">・事業の公開 印刷物の配布およびインターネット上での公開を毎回行った。(事前・事後ともに)・普及活動 ホームページ上でのロゴ掲載および対象事業である旨の明記を行った。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 今後の課題と活動について

今後の課題と活動	<p>課題は区や児童館・学校関連組織との連携である。今年度は民間団体どうして手を取りあってきたが、区内青少年へのアプローチはここから行うのが最も効果的だと思う。</p> <p>また、区報の活用も積極的にチャンスを頂きたいと考えている。</p>
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 活動状況について



7 収支決算

事業費	926,818	補助金額	460,000
-----	---------	------	---------

収入		予算額	決算額	決算額内訳
	団体負担金	399,800	466,818	事業収入、企業協賛収入
	参加費・資料代等			主に未成年対象のプログラムにつき徴収せず
	その他の収入			
	NPO支援基金助成	460,000	460,000	
	計	859,800	926,818	

支出	費目	予算額	決算額	決算額内訳
	報償費	360,000	301,000	外国人ゲスト7名 30,000円×5名 35000円(宿泊費含む)×2名 通常時 外部講師 9,000円×9回
	旅費	353,800	553,064	外国人ゲスト3名/7名分負担 121,100円 + 148564円 (CAD1479.57, 1CAD=100.41円) + 200,000円 宿泊費 35,000円×2 阿佐谷児童館至近駐車料11回分/全26回 13,400円
	備品費・消耗品費	84,000	12,300	ポータブルスピーカー購入費 12,300円
	役務費			
	使用料・賃借料	42,000	47,760	阿佐谷児童館 1,050円×12回 2,100円×7回 (4,5月領収書紛失 支出額から除外) 浜田山会館 2日程 15,000円 セッション杉並 1日程 5,460円
	その他の経費	20,000	12,694	印刷費
	計	859,800	926,818	